

もう一步のご支援で

合宿所のない母校に生活館の実現を

○ 募金現在額 9千2百万円 ○ 募金目標額 1億8千万円

* 8月末日迄寄附行為に対する免税処置があります。

募金応募状況の報告 平成2年2月末現在

同窓生応募状況	3,099人	40,408千円
後援会員応募状況	712	8,410
企業 //	10	5,800
後援会 //		28,588
その他一般		7,700
預金利息		1,769
合計		92,675千円

同窓生の皆様へ

母校の生活館建設の実現もあと一息

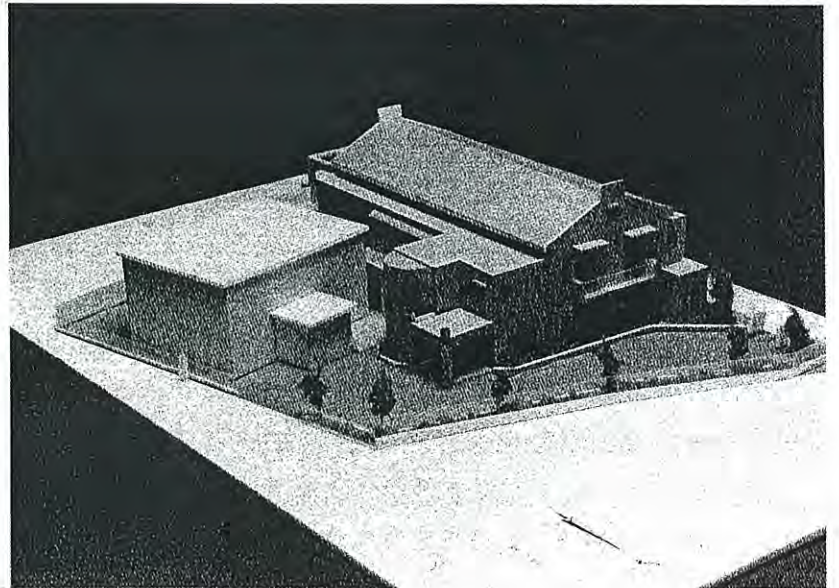
後援会長 山口 森三

路地を歩くと風に薫る沈丁や早咲きの彼岸桜、萌え
いずる前の凜とした木々の梢に大地の春めく兆しを深
く感じる季節になりました。この年になりまして、か
えってからっと澄んだ予感や予兆にはっとさせられる
ことがあります。

同窓生の皆様も、お元気でご活躍のことと思いま
す。同窓会長の伊村氏のご挨拶に募金に関する細かい
点がかかれていたということですので重複は避けます
が、三千人以上の同窓生の方々より四千万円を超す募
金をいただきましたこと、まことにありがたいこと
です。後援会等を合わせて九千万円を超える額に達しま
したこと、ただただ感謝の念に堪えません。たとえ母
校のためと言っても、一口一万円の額を出すことはな
かなか大変なことであります。まして、戸別訪問でお
願いするほうも、また依頼されたほうも、様々な思い
がありほんとうに御苦労なことであつたらうと拝察い
たします。深甚の謝意を表します。

本来の筋からすれば、東高校は県立高校ですし、部
活動や社会的な活動を推進する方針から、県の予算で
建てるべきであります。しかし、まったくその見通し
や動きはありません。かと言って、火災後のあの状態
で、合宿やブラスバンド等の諸活動の施設がないまま
で済ます訳にはいかず、この事業に取り組んだのです。
ただ、これだけの事業になりますと、後援会の力だけ
で成し遂げられませんので、同窓会の皆様にご無理な
お願いであることは承知のうえでご協力を依頼した次

生活館完成予想図



第です。おかげをもちまして、もうひと踏ん張りとい
う段階まで来ることができました。全国の同窓生の皆
さんにあらためてご協力をお願いします。

先日久しぶりに東校を訪れました。その折、グラン
ドの方に足をのばしてみました。ボールを追う生徒達
の俊敏な走り、そのかなたに葉梨の山々が青いひだを
重ね、その収斂したところに高根山が力強い稜線を見
せている。ブラスバンドのフルートやトランペットの
音が同窓会館の辺りから風によって流れてくる。ぶら
ぶらと歩いてゆくと、火災に遭った旧の集会場の跡地
は整地され両隅にミニサッカー用のゴールがぽんと
置かれている。同窓会館の中は各パートの練習か、騒
然とした音の渦だ。西側に廻ると取り払った合宿所の
がらんとした殺風景な空き地の隅に簡易に囲った風呂
場だけが残り、かつての面影をさらしている。物干し
台をネット代わりにバドミントンをしていた生徒が、

「あの合宿所は空間が自由に使えてよかった。床を踏
み抜いて怪我をした先輩も何人かいたけど、壊される
時は悲しかった。あの黒鍵が擦り減り音の狂っていた
どうしようもない古いピアノがつぶされた時は、何と
も言えない気持ちだった。ああ、プレハブでもいいか
ら合奏出来る、広い空間が欲しい。」と口々に言いなが
ら、練習に戻って行った。

松の並木と、グラウンドのスタンドぐらゐかな往時の
姿をとどめているのは。いやいや、青春は健在だ。